

2019年4月11日

課題名：経カテーテル的大動脈弁植え込み術（TAVI）における鎮静方法が
周術期呼吸循環動態に及ぼす影響の検討

◆研究の目的と概要◆

当院では、局所麻酔併用鎮静管理による経カテーテル的大動脈弁植え込み術が施行されています。使用される鎮静薬によって周術期呼吸抑制状態が呼吸循環動態に及ぼす影響を明らかにすることにより、使用すべき鎮静薬の参考となることを目指し、今後のよりよい診療を行うことを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2018年4月から、2019年4月までの間に、局所麻酔併用鎮静管理による経カテーテル的大動脈弁植え込み術を施行された方。

◆研究に使用される情報・試料◆

麻酔導入時とヘパリン投与後におけるFiO₂ または酸素投与量、PH, Hb, Ht, PaO₂, PaCO₂, BIS 値、SEF 値、EMG 値、観血的動脈圧（収縮期血圧、拡張期血圧、平均血圧）、肺動脈圧（収縮期血圧、拡張期血圧、平均血圧）、中心静脈圧
使用したフェンタニルの総量、NAD 等の循環作動薬の使用量
患者の年齢、性別、留置弁の種類・サイズ、身長、体重、体表面積、STS スコア、左室駆出率、大動脈弁弁口面積、大動脈弁通過最大血流速度、大動脈弁最大圧較差・平均圧較差

◆研究方法◆

本研究は過去の診療録や麻酔記録からのデータを利用します。

-
- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
 - * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院
麻酔科 研究責任者 山崎翔太
E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）

(★を@に変換して使用してください)

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法
（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明